

- ▶ A・(B)・CC)ごとに別紙を使用する。
- ▶ そのうちの情報は地点番号順に並ぶ。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	( / )
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2151.20	jatsu: jatsi (jatsu: は jatsu u<を>)	
2151.51	jatsu: bissi (jatsu: は jatsu u<を>)	
0716.46	キウ スエル (オ 助詞をいわない)	
0840.33	kju: smeru kju: tateru <どちらか同様に使った>	
0896.22	キウ タテル (子供に対しておとす場合はキウ スエル)	
0990.97	kju: suiuru jaito smeru <共にいう>	
1739.85	kju: smeru <jaito はあまり言わない>	
1744.60	ヤイト スル <昔は皆ヤイトスルといった。今はあまり言わない>	キウ スエル
1756.32	キウ スエル (オ ぬけが多い)	
1793.14	キウ スエル (オ 助詞を入れずにいうことが多い)	

0-2150.19の次へ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(2)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1814.25	ヤイトスイル <子>	オキ <sup>ワ</sup> オタテル
1848.24	kju:tateru <多>	kju:sumeru
1859.84	senko taderu <子どもの時 及び子に対し母> ( <sup>オ</sup> は <sup>ト</sup> の <sup>ク</sup> し <sup>有</sup> 声 <sup>化</sup> を <sup>示</sup> す) ↓ <sup>エ</sup>	
1862.48	ヤイトスル <古>	キ <sup>ワ</sup> オスイル
1867.15	キ <sup>ワ</sup> オスイル <多く使う>	キ <sup>ワ</sup> タテル
1942.03	kju:omeru <kju:tateruのjaitoも 聞いただけ>	
2761.77	jasi taderu <古>, kju:taderu <新>	
2800.52	キ <sup>ワ</sup> スイル (オ助詞なし)	
3619.08	ksi:simeru (eは狭いe)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3609.47	kju taderu (新)	jasi taderu
3649.58	jaši taderü (昔) kju taderü (今)	
3699.55	チヤテル (最も一般的)	キニスル, キニヤテル
3712.15	jasi tateru (老人の一部で使う)	kju tateru
3712.89	jašü taderü (昔)	kju taderü
3725.72	キヤキ (古・老)	キヤク
3744.18	キニオヤテル (丸が入ったら「キニ」と短かく発音した)	キニヤテル
3750.75	kji taderü (田舎では jasü taderü とも)	
3762.85	kju taderü (今)	jašü taderü
3771.29	kju taderü, jasi taderü (両用)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特異語)	(4)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
3782.71	kjũ taderũ (へ普通長音より短い、やや長いという程度)	
4618.49	kjo smerũ <教育程度の低い人が言う>	kym smerũ
4619.29	kjo: taderũ <稍上>	tjo: taderũ
4637.20	cjm: taterũ (cjm:の発音はキェとキューの中間的音)	
4647.87	クェ スェル (tjm: smerũ)	
4653.47	kjm: o jakũ <希> <古くから用いた。現在は友人など に対する時に希に用いる>	
	kjm: o smerũ <古一現、共、子> <古くから現在まで用いている。jakũ よりも広く用い、子供に対する場合 共通語的場面に用いる。>	
4653.84	kjm: smjerũ (このeは標準のeより狭く、口を横にひく)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(5)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
4654.52	kju: jaku <共・希>	kju: smeru
4665.87	kjo: smeru <新上> (84図では smeru の部分を除いた)	kjo: tateru
4666.51	kjo: tateru <古>, kjo: smeru <新> (84図では smeru の部分を除いた)	
4666.99	cju: smeru <現在これを用いる> kjo: smeru <古>	
4667.33	オ <sup>ク</sup> <sub>ク</sub> スイル (丁寧な言い方)	ク <sup>ク</sup> スイル
4676.60	kjo: tateru <古一現>, okjo: tateru (上) okjo: smeru <新上> (84図では smeru の部分を除いた)	
4685.10	kjo: ten suru <希>	kjo: tateru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> ( ) ( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(6)
灸をすえる	022		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4685.72	kjo: se:ru (はじめ okjo: se:ru と答えて、これは上流階級の言葉だと訂正した)	
4686.02	kju: tateru (kju: の u は の の 感じがある)	
4686.96	jaesi tateru <希> - <古いことは>	kjo: tateru
4694.81	𑖀𑖄𑖅𑖆 スエル (kjo: sueru)	
4694.95	jaɕi [tateru] (tateru の部分は妻がいた)	
4698.21	kju: sieru <これを使う>	kju: jaku
4702.10	kju̠ taderu̠ jaɕu̠ taderu̠ (両用)	
4712.16	okju: suɽu <新> <稀>	kju: tateɽu
4713.60	ki: tateɽu <古> , oki: suɽu <新>	
4742.43	ki: jzaku (稀) <主に ki: jzaki という名詞が普通に使われている。これは非常にしはしは 使う>	ki: sueru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	(7)
項目名		(C 除いた特殊語)	
災をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4752.27	Ki:suLm <希>	Ki:jagu
4760.64	[kɛʃju'tadəru] (少し改まるヒキョ-ゲデルとわいひがふだんはキョ-ヒキョ-の中間的な音)	
4771.58	Ki:jagu <相馬石城で aɛʃi:jagu というのをきいたことがある>	
4790.30	je:çi jaku <多く使う>	Kju:jaku
5462.57	ヤイトオスイル <古>	キョオスイル
5574.79	jaito smerü (.a. 7. b. の時の b の終止形は出してるはない)	
5576.96	jaito süerü (双方同等) Kju:süerü	
5578.27	キョオスイル, ヤイトスイル (1... je)	
5586.56	jaito osüerü (優先)	okju:osüerü
5603.35	okju:suru <上>	Kju:suru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。  
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(8)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5603.88	kjɔ: smɛrɯ <私は灸をしたことなし>	
5604.28	kjo: smɛrɯ (やや改まった発音)	kjo: sm:ɾɯ
5605.57	ヤアヒタテル (ヤアヒアテル (古))	キユウ スエル
5606.83	okjɯ: o smɛrɯ <希> <しょうたんを言う時などに使う> と説明した。 jaɛɕi otaterɯ <古> kjɯ: o smɛrɯ <これが最もふつうに多く用いられる>	
5608.51	eɕi jɛkɯ (ゆくり言っ変わったもの。表記を聞くと「えい火」由来は不明)	je:ɕi jaɕɯ
5611.81	okjo: smɛrɯ (新しい言い方であろうが共通語的場面でのみ使うのではないらしい。こちらが先に出た筈である)	
	jaito smɛrɯ <古い言い方であるが今も使う>	
5613.33	okjɯ: o se:ɾɯ (旧来の発音)	okjɯ: o smɛrɯ



- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(9)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
5613.80	kjɯ: se:ɾɯ <新>	kjo: se:ɾɯ
5614.68	okjo: smerɯ <家庭の中でも使う> <別に上品なことは はない と被調査者は答えたが okjo: というのが そこに丁寧さがあるのかもしれない>	kjo: smerɯ
5615.78	ɛ: ʃi o taterɯ (je: ʃi という発音の感じもある) kjo: soerɯ <新>	
5621.43	jaito taterɯ <古>	okjɯ: ʃiɾɯ
5623.27	kjo: smerɯ [[kjo: smerɯ]]	kjɯ: smerɯ
5623.85	kjo: suerɯ <kjo: ならほんとはさな>	
5624.85	tʃɯ: smerɯ [kjɯ: smerɯ]	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83.84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(10)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5625.32	キオ スエル (kjo: smeru) <被調査者よりおと 老令の人は ヤキオ スエルという。>	
5625.91	kjo: o smeru [kjo: smeru]	
5626.99	キウオヤク <新>	ヤキオヤク
5635.65	キウオスエル (共)	
5639.13	キヤク, キヤキオスル <どちらか使う>	
5642.67	kiu o suiru (この地方では suiru smeru いずれも通用する)	
5646.39	エキオヤク <古>	キウオヤク
5651.45	[e:to sueru] <古>	kiu o smeru
5651.95	e:to sueru <子> <しめたり, おとしたりする時に 隔った>	kju: o smeru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(//)
灸をすえる			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
5652.81	okju: o sueru e:to sueru <両方区別なく使う>	
5657.73	オキウオスイル (共)	
5666.18	オキウオスイル (新). ヤヒオスイル (古)	
5671.00	e:to sueru (子) <いたすらししたような時 おこつていう場合にだけ>	
5671.36	kju: osueru (年寄りは e:to sueru)	
5677.14	jahi jaku <kju: といい人もある>	
5677.60	オキウオスイル <小川町周辺 オキウオヤク>	
5677.85	ヤヒオヤク <子供・年寄りの使うこととは>古いことば オキウオスイル.	
5678.71	okju: o sueru <昔年寄りはヤヒオヤク jahi o jaku さんま高木>	
5679.86	ki: o suerü (完) ki: } suerü, (他) e:ji jakü oki: }	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(12)
灸をすえる			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
5680.34	je:too jaku <古>	kju:sueru
5685.02	okju:0 jaku okju:0 smeru <区別不明> [jakuとは言わない]	
5685.37	kju:0 jaku <~smeruという人もいる>	
5686.31	okju:0 jaku <新>	okju:0 smeru
5688.01	キョウ オ スエル <多く使われる> ヤヒヤ7 <70.80の老人> キョウ スエル キョウ オ ヤ7 <多く使われていそうだが不明だとのこと>	
5687.32	キョウ オ スイテル <多く使う。普通の形> キョウ オ ヤイテル } (調査者の質問による) キョウ オ スエル	
5687.86	オキョウ オ ウエル (第三者も首をかきつけていた。) 総らく 誤まり	キョウ オ スエル
5688.37	キョウ スエル ソ <古>	オキョウ スエル
5691.37	e:to sueru <古>	kju:sueru

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(13)
突をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
5703.70	ja:ʃi jaɣw <古>	oɰjw:jaɣw
5710.84	キ27 ヤ7 <昔の言い方で、現在も多く用いる>	
5711.85	kjw:jaɰw <古>	kjw:swɛrw
5712.70	kjw:jaɰw [kjw:oswɛrw. ojaɰw<古>]	
5722.37	kjw:jaɣw <新>	!ja:ʃi jaɣw
5732.17	je:ʃi jaɰw <子供の頃聞いた>	kjw:ojaɰw
5741.25	kjw:swɛrw <ヤ化ヤ7といくと30近くある> 他の別に調査した被調査者に於ては ki:jaɰw	
5760.24	jaʔiʃiojaɰw <この方が少ない>	oʃjw:oswɛrw

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(14)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5761.91	kiw jak jakuとなる	
5762.41	je:gi jakw <あた(は)ニれを使(う)と多(い)>	kjwja kw
5770.11	jaçi jak jakuとなる	
5771.42	çt:ojagw (訛)je:çt jagw <右>	
5782.79	je:çiojaku <右>	kjw:swɛrɔr
5782.94	okju:osmeru <子ともにいう>	okju:ojakw
5791.68	keju:ojakw [点灸師 keju:jaki]	
5792.62	okju:ojakw <点灸師を keju:jaki という>	
5793.20	okju:smaru (小学校にある文献によれば灸はアカダン)	
6338.99	ヤイトスエル <幼> <sup>キョウ</sup> オスエル <老>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	83, 84	
項目名		(B 除いた共通語)
灸をすえる 022		(C 除いた特殊語) (15)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6384.25	kju:osüerw jaitoosüerw } 区別不明	
6385.28	jaito:osmerw <子供に対して多く使う>	kju:osmerw
6396.83	jaito:osmerw <子供に対して使う>	kju:osmerw
6406.92	ヤイトスエル (一般)	ヤイトス <sub>ル</sub> エル
6407.28	キ <sup>ハ</sup> ウ シ <sup>ハ</sup> エ <sup>ハ</sup> エル <新>	ヤ <sup>ハ</sup> ト シ <sup>ハ</sup> エ <sup>ハ</sup> エル
6409.72	ヤイトオセ <sup>ハ</sup> エル <共>	ヤ <sup>ハ</sup> トオセ <sup>ハ</sup> エル
6410.45	ヤイトシ <sup>ハ</sup> エル <古>	キ <sup>ハ</sup> ウオシ <sup>ハ</sup> エル
6410.77	ヤイトシ <sup>ハ</sup> エル [古]	キ <sup>ハ</sup> イシ <sup>ハ</sup> エル
6411.33	ヤイトシ <sup>ハ</sup> エル <新>	キ <sup>ハ</sup> イシ <sup>ハ</sup> エル
6411.66	キ <sup>ハ</sup> イシ <sup>ハ</sup> エリ (シエリ = すえる)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84		
項目名		[B 除いた共通語]	(16)
灸をすえる 022		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6412.12	キイシレル (新)	ヤイトシエル
6415.23	ja:to süerw <古>	jaito süerw
6416.58	ヤイトオスヨオル (スヨオルはスエルの進行形)	
6418.13	キョウオセエル <共希>	ヤイトオセエル
6418.75	キョウオセエル <共>	ヤイトオセエル
6419.09	ヤイトオスエル <上品> (84図では スエルの部分を 除いた)	ヤイトオセエル
6419.50	ヤイトオスエル <希共> (84図では スエルの部分を 除いた)	ヤイトオセエル
6420.58	ヤイトシル <古> (シル=する) キョウシエル <新>	
6421.82	jaito:smerw <希>	kjm:osüerw
6422.16	ヤイトオシエル <古> キイオシエル <多>	



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(17)
灸をすえる			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6422.93	ヤイトオシエル <古>	キイオシエル
6424.20	jaito osürerur, kju:osürerur (スルはスレンスル、スルと活用する)	kju:osürur
6426.04	kju:osurur [多]	jaito osurur
6429.61	ヤイトオスエル <共>	ヤイトオスエル
6436.33	jaeto:sürerur (jaeto:のo:となるところが副詞「を」に対応するかどうか不明、単独でもjaeto:というのかわりはないが調査中に感じられた)	
6439.01	ヤイトオスエル <共> (84図ではスエルの部分を除いた)	ヤイトオシエル
6452.98	ヤイトオスエル (jaeとはできえぬ、je:か、不明)	
6455.31	jæ:to:surur (単独 jæ:to:の如し)	
6457.51	jaito surur <古>	. kju:osurur

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> ( ) [ ] は略記にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84		
項目名		[B 除いた共通語]	(18)
灸をすえる 022		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6458.08	ヤイトセエテル (…セエル)	
6459.29	ヤイトスエエヨル (…スエル)	
6460.10	jaito:süerw <多> kjü:osmerw <急という俗語>	
6462.59	ヤイトオスエル (ヤイはヤエとなりやすい)	
6472.58	ヤイトオスエエトル (ヤイトセエルとまではならないが語頭か、エアとかわくのが自然のようにうけとれぬ)	
6473.65	ヤイト-シエ-ル (je)	
6476.13	オキエウスル <新>	ヤイトスエル
6476.93	ヤイトスエエル (ヤイトスエテケルはヤイトセエテケルに近い発音となる。そしてスエは少し長くスエエとなる)	ヤイトセエル
6479.95	ヤイトオスエル [ヤイトスエル]	
6480.29	イエ-トオセエ-ル (jæ:tô se:ru)	キョオセエ-ル

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	[B 除いた共通語]	(19)
項目名		[C 除いた特殊語]	
灸をすえる			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注記]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注記]
6485.82	ヤイトヲスエル (この場合は 助詞のヲを使うということであった。)	
6486.07	ヤイトスエル (スエルはスの子音Sがひびき次にセかすくに続くような音である。これをスエルと書くべきかも知れない)	
6486.50	ヤイトスエル (スの子音Sがひびき次にセかすく続くような音である。これをスエルと書くべきかとおもう。)	
6500.22	ヤイト(オ)スエル (yæ:to) ヤイト〜 ([ai]は一般的に [æ:]になるが [ai]の発音も存する。他の奥丹後と比べると [ai]が多い感じ。以下すべて同じ)	
6500.88	kju:osueru <医療として>	jaito:sueru <折檻のために>
6503.73	jaito siuerü kjü: siuerü (双方同等に言う)	
6504.44	jaito siuerü <此頃あまり使わない>	kju:siuerü
6517.70	ヤイトスエル <昔>	キョウヲスエル
6518.30	キョスエル <雅>	ヤイトスエル

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(20)
発をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6518.87	ヤイトスエル〈古〉	ㇿㇿスエル
6520.30	yaito sueru 〈小さい時使った〉	Kyu:sueru
6526.45	ヤイトスエル〈古〉	ㇿㇿフスエル
6536.39	ja:to suerü 〈幼〉	kju:suerü
6540.52	ヤイトスエル ㇿㇿオスエル 〈同形を区別なく用いる〉	
6546.15	オㇿㇿスエル〈オㇿㇿスエルのオが多い〉 [ㇿㇿスエルとオを つけない]	ヤイトスエル
6546.73	jaito sweru (奥さんから言われた思い出した)	Kju:sweru
6551.52	ヤイトスル (ヤイトスエルとも言うはずなのに〈わたしは〉 ヤイトスルという) との答。	
6552.90	jaito sueru (「ヤイトスル」)	
6553.22	jaito sueru 〈(kju:)はつかわない〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83. 84	(B 除いた共通語)	(2/)
項目名		(C 除いた特殊語)	
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6553.83	jaito sueru < 始めて本職の人に「灸をすえる」からことば "kju:orosu"と違って区別している。 >	
6553.99	jaito sueru (「ヤトスエル」)	
6554.08	ヤトスエル <希>	キョウオスエル
6564.33	kju:sueru (「ヤトスエル」の言い方はないかと念を押 して聞いたが、全然言わぬ由。	
6572.22	ヤトスエル (助詞「を」なし)	
6574.52	kju:sueru (「キ-スエル」)	
6581.36	キョウスル <共>	ヤトスエル
6581.52	キョウオロス <新>	ヤトスエル
6583.93	jaito sueru <古>	jaito jaku
6583.19	kju:sueru < 「ヤトスエル」は、子供を叱る時に用いる 比喩的表現である。 >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (22)
	83, 84		
項目名			
交をすえる			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 除いた語形とその注)]
6583.41	jaito sueru <古>	kju: sueru
6583.45	jaito sueru (「ヤイト スエル」)	
6586.27	kju: sueru kju: jaku <どちらか同じように使う>	
6591.57	キョウスエル <多く用いる>, ヤイトスエル < <sup>子への徳罰</sup> としてお叱り時用いる>	
6593.98	kju: jaku (「キョ-ヤウ」というアクセント)	
6591.02	キョウスエル [ヤイトスエルとも用いる。]	
6600.97	jaito o sueru <古>	kju: o sueru
6601.25	jaito o sueru <子> <しかりつける時に>	kju: o sueru
6601.93	jaito o sueru <古>	kju: o sueru
6611.61	okju: o sueru <おはあさんは je: to o sueru と言っていた>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(A 普通注記)	
項目名		(B 除いた共通語)	
火をすえる <small>ess</small>		(C 除いた特殊語)	(23)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
66 20.49	kju: o sueru [e: to sueru <3>]	
66 20.53	kju: o sueru <jaito o sueru ということを昔の 人が使った>	
66 21.34	kju: o sueru <大分県村では jaito とか e: to とか言う>	
66 22.69	okju: o smeru <昔>, jaito <今>	
66 32.88	jaito: smeru <希>	kju: o smeru
66 33.33	jaito: smeru <希>	kju: o smeru
66 33.89	jaito: smeru <多く使う>	kju: o smeru
66 43.15	okju: o smeru <上>	jæ: to o smeru
66 43.72	kju: <治療の時>	jæ: to: smeru
67 30.33	kju: smeru (普通の時は助詞「を」を言わない)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号欄に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(24)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6267.68	okju: o sũru jaito o sũru (区別不明)	
7208.97	kju: sujuru <新>	je: to sujuru
7266.09	ja: ɸijaku, ja: tojaku <とちらも使う>	
7275.07	ヤッバヤ7(新), モンザバスエ <small>ツ</small> (古) (モンザはエツ <small>ツ</small> の脱形)	
7302.87	kju: smeru <古>, jaito o smeru <新> (宗條以西のようにスルとまらない)	
7304.26	jaito: osmeru <子供に>	kju: o smeru
7307.48	jaito: o smeru <子供に言う時>	kju: o smeru
7320.59	kju: sujuru (助詞の脱落のため kju: の長母音化) jaito: sujuru している。下も同様	
7322.81	kju: ba smeru (ヲバ系のバ)	



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	[B 除いた共通語]	(25)
項目名		[C 除いた特殊語]	
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 ( <del>B・C</del> 除いた語形とその注)	A 注のない語形 ( <del>B・C</del> 残した語形とその注)
7329.39	kju: o orosu <初めるときこういふことある>	jaito smeru
7329.57	jaito smeru <jaito se-te jaro zo といふ>	
7331.27	jaito o sujuru, kju: o sujuru	<大きいを jaito 小さいを kju: といふ>
7332.52	ja:to: <多>	kju: sujuru
7333.29	etsu: sujuru <古>	kju: o sujuru
7335.34	kju: wo sujuru <新>	jaitu: sujuru
7336.71	jaito: suru <古>	kju: o sujuru
7342.76	eito: sujuru <古>, kju: sujuru <新>	
7346.58	je:to sujuru <古>	kju: o sujuru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名	灸をすえる 022	(C 除いた特殊語)	(26)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7353.03	e:to sujuru (多い)	ja:to sujuru
7353.51	ヤトスル キウスル<希> } <新古の差不明>	
7354.23	キウスル<やや新か>	ヤトスル
7361.82	ije:to suejoru (進行形)	
7362.67	キウスル<新>	ヤトオスル
7363.85	キウスル<上>	ヤトスル
7364.34	ヤトスル<希>	キウスル, キウスル
7365.25	jaito: sujuru<古>	kju:o sujuru
7367.25	jaito: sueru <sujuuru というのは山村部 帯内では sueru >	
7372.27	ヤトスル<やや古><希>	キウスル

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名	灸をすえる 023	(C 除いた特殊語)	(27)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
7373.56	ㇿスユル <新>	ヤトヤ7
7374.15	[ヤト スユル] + [希・老人語]	ㇿスユル
7373.99	ヤトヤ7 <やや古>, ヤトスユル <やや古>	ㇿスユル
7374.75	ヤイトスユル <上品ないい方>	ヤアシスユル, ㇿスユツ
7375.30	kju: sujuru <多> (多)は 被調査者がこの方を多く使っている (多)は 普通に使う という略語	jetsu sujuru
7375.96	etsu sujuru (etsu/ㇿ/egi/ㇿという) egi o sujuru (sujuruは jaku ㇿいう)	
7375.71	jaito sujuru <新>	egi jaku
7376.62	jeto sujejoru <「jeto」を近頃「jaito」ㇿいう>	
7376.68	jeto sujuru <jeto suedon (sijoru ㇿいう)>	
7377.72	kju: sujuru <古>, jaito sueru <新> <この頃はこの方を多く使っている>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	(28)
項目名		(C 除いた特殊語)	
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7381.47	ヤトヤ7 (行為), キュウスユル (事項)	
7386.55	eto sue suru , eto sujuru <何れも同じ程度に使う>	
7390.75	キュウスユル <新>	ヤトヤ7
7391.94	ヤツウヤ7 (ヤツウは[ヤツを]の形が半長音形になったものがある)	ヤトヤ7, キュウスユル
7392.33	キュウスユル <新>	ヤツウヤ7
7392.45	ヤトヤ7 <新>	ヤツヤ7
7392.94	ヤトヤ7 <古からのいい方>	キュウヤ7
7393.62	ヤトスユル <ヤ新>, キュウスユル <新>	ヤトキヤ7
7394.60	キュウスユル <上>	ヤキヤ7, ヤトヤ7
7394.85	je:to:jaku <普通>	je:to:suru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(29)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注記)]	A 注のない語形 [(B・C 除いた語形とその注記)]
7395.63	etsu(o)jaky (助詞「 <u>ヲ</u> は言ったり言わなかったりする)	
7395.88	efi o sujuru etsu sujuru <efiとも etsuともすれり使う> <意味に違いはない。> (助詞oは あったりなかったりである)	
7402.42	jaito smeru (あとが化膿したのを <hose-ta)> という由。	
7402.47	jaito smeru <最近、okju:smeruという人が 多いようです。と聞いていた。>	
7404.12	jaito o smeru (チンとしたい方を答えなくは という意識が動いたようである。)	jaito o se:ru
7404.56	jaito o smeru (参考) jaito 灸, mogusa senko.	
7410.57	jaito smeru (はじめ灸点をおろしすえりから いった時は、<kju:otosi ni ita)> という由。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	[B 除いた共通語]	(30)
項目名		[C 除いた特殊語]	
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7412.71	jaito suerum <はじめて灸点をさめることは<kju: o orosu>という。その後、スエルのを<jaito suerum>という。こどもを叱るときは、点はオサナが<jaito suerum zo>という。>	
7413.29	jaito: o sueru <稀>	mogusa o sueru
7421.62	kju: o orosu <いくぶん改まった気持ちでの話の時に出る。>	jaito osuerum
7422.26	jaito: sueru (子供むよく使用する)	kju: o sueru
7423.77	jaito o sueru (大人に対していつとき用いることがある。)	kju: o sueru
7426.61	kju: o sueru <多>	jaito o sueru
7427.90	kju: o orosu <近ごろこれが多い>	monsasueru
7430.75	jaito osuerum <瘧れた時などにすえるのは jaito osuerum といふ。特に、 なにかの病などの治療のためにすえるのには、kju: o suerum といふ。>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3/)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7435.07	kju:osueru <多>, kju:orosu <はじめた灸をすえる時 使用する事が多い>	
7436.68	mopsa o suetu <古> or <子>	kju:osueru
7441.63	mōgusa o suetu <多>	kju:osuetu
7442.75	mōgusa o sueru <やや多>	kju:osuetu
7452.08	jaito o suetu <最近>, mōgusa o suetu <少し前>	
7461.77	mogusa osueru <絵のものにこれがヒョリ> kju:orosu <灸のあとをいうようだ> ← (これを調査者はいさか疑う)	
7470.29	jaito o suetu <少>, mōgusa o suetu <多>	
7470.72	jaito o suetu <多>	mōgusa o suetu

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名	022	(C 除いた特殊語)	(32)
灸をすえる			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
7500.66	ヤイトスエル 〈ヤイト オ スエルと助詞のオを入れるのは上品なことは〉	
7501.72	ヤイトスル (スルは二段活用式)	
7503.48	kju:jaku (ヤイトはよそで聞く)	
7513.15	jaito jaku 〈古〉	okju: sueru
7522.48	キウスル 〈新しい言い方である〉	ヤイトスル
7523.30	キウスル 〈新〉	ヤイトヤク
7659.53	jaɸjo ɸowa 〈古〉	kju:o ɸowa
8300.80	ヤツバスユイ (語末のスユイはルの母音化である)	
8301.19	ヤツヤク 〈古〉	キウスル, キウスエル
8302.19	キウヤク 〈新?〉	ヤヒヤク



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83. 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(33)
灸をすえる			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
8302.91	キョウ スル <新>	ヤツヤフ
8303.13	ja:ʃi suru (jaitoという名詞もある)	
8303.70	キョウ スル <新>	ヤト スル, ヤイト スル
8303.84	ヤト スル <希>	ヤヒヤフ
8313.88	jetsu sujui (スユイはスルの語尾ルのイ音化。 動詞の語尾ルは諸県方言では 原則として「イ」になる。)	
8323.59	etsu sue etsu sujui(ga) (通常、体言的にエツスエという。 用言的には「ガ」の如き辞が 附き エツ スユイガという。)	
8324.26	jetsu sujuru, jetsu sue (何れにもない)	
8324.83	jetsu sue (体言として使うのが普通。用言的には jetsu sue jitʃoi という)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(34)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
8325.56	ja'ito sueru <こちらで使われるが、今は ja'ito> eto sueru の方が多い	
8335.48	jetsu o sujuru <古>	jaito o sujuru
8341.12	jetsü siera (終止形不明)	
8343.97	jetsu <新>	jaito sueru
8351.65	kju o sujut <改まったときに言う>	jetsuo jaku
8352.40	jetsuo sijut <ijut は ijui といいよい>	
8362.85	jetsuo {sujui} {sujut} (動詞のルで終る部分は 入声ヒイ語尾)	
8373.43	jetuo sueru (第三者 jetsuo siera)	
9312.42	e:to:jaku ('e' は e:to: の中に含まれる)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並ぶ。
- ▶ 注記の<>( )は省略にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名	灸をすえる 022	(C 除いた特殊語)	(35)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
9322.52	jaitoo jaku <新>	e:too jaku
0238.55	jasu jakjuri <やくのを見ているので jakjuri と いわない>	
0247.31	jatju jakjuri <現にやいているのを見ているから jakjuri という>	jatju jakjun
0257.43	jatju jakju'ri <やいているとき> jatju jakjum <いつもやく>	
0265.96	jatju jakjui ) (終止形に -i と -n 語尾の二つが あった。-n の方は もと連体形であった。 jatju jakjun ) -n の方は 動作の決意を示すとか 動作が 恒常的に 行われることに使 い -i の方は 現実 に その動作を見ている 形。被調査者 第三者 等の言い方を きくと 以上のようなものであるが なお 研究を すすむことである。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ 元の中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(36)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
0275.36	jatso jakjun <いつもきまってそうする> jatso jakjui <やく状態を見ていう>	
0275.97	jattso jakjun <自分が～する。(意志を表す)いつも～する> jattso jakjuri <他人が～するのをこちらがみる>	
0276.50	jatso:jakjui ) jatso:jakjun )	(-hi-iの二つの語尾があって、-hiは元来連体形であった。-hiの才は自分がどうするという決意を示す外、その動作が恒常的に行われる時に用い、-iの才は現実に動作をみる。被調査者、第三者等のいい分をまとめると以上のような。しかし、今後よく研究すべき問題)
0294.93	jattsumun jattsumun	(五分五分。何れも「を」は省略)
1156.89	jattsu: su	(動詞の語尾Nは省略される)
1213.76	jattso suji	(動作を見ていうのだから sujiである。～sumunは用いない)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での番号は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は省略にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 ページ
	83, 84	
項目名		B 除いた共通語
灸をすえる ぬ		C 除いた特殊語 (37)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1223.91	ja:tsu: si:N (SUN) ja:tsu: jakuN <何れも同様に用いる>	
1242.22	ja:tsu: suN, jatso: suN <何れも同様に用いる>	
1270.29	jattsu: suN <jattsu: suNを多く用いる>	jattsu: jatsun
2076.25	jatsu: jaki (連用形)	
2086.03	jatso: jai (連用形) [jaiはヤ村に当り終止形は jo:]	
2141.61	jatsu: ja <sub>2</sub> u (「ヤ <sub>2</sub> 」は jatsu, jatsu: は 「ヤ <sub>2</sub> 」)	
2150.06	jatu: ukili (jatu: は jatu u <u>)	
2150.17	jatsu: jafu (jatsu: は jatsu u<u>) jatsu: ukii <jafuは ukiiを多く用いる>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	( / )
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない別紙 [B・C 残した語形とその注]
<del>7521.16</del>	<del>キ<sup>ウ</sup> スエル &lt;新&gt;</del>	<del>ヤイトスエル</del>
1719.38	キ <sup>ウ</sup> オスエル <新>	ヤイトスエル
1773.27	キ <sup>ウ</sup> スエル <新>	キ <sup>ウ</sup> タデル
1781.95	キ <sup>ウ</sup> スエル <少>	キ <sup>ウ</sup> タデル <多>
2649.79	キ <sup>ウ</sup> スエル <新>	キ <sup>ウ</sup> タデル
2751.10	キ <sup>ウ</sup> スエル <新>	キ <sup>ウ</sup> タデル
4685.28	kjm: smeru <新>	kjm: tateru <古>
4695.21	kjm: smeru <新>	kjm: tateru
4696.82	kjm: smeru <共>	jaeçi otateru jaeçi tateru

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( ) は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名	灸をすえる 022	(C 除いた特殊語)	(2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4712.54	kju: o sateɽu <共>	kju: tateɽu
5559.51	キウヲスエル <共>	ヤイトスエル
5579.79	キウスエル <共>	ヤイトスエル
5604.52	kju: smeru <上> <やや改まった感じがある。共通語の影響が少しある。>	kju: tateru <古い言い方: 子供に対して用いる。>
5611.39	kju: smeru <新>	kjo: se:ru <古>
5614.62	kju: smeru (やや改まった場合)	kju: se:ru (これは普通の発音の場合の発音)
5615.28	kju: smeru (新)	e:gi o tateru <古くから用いる。>
5629.98	キウオスエル <新>	キウオヤ7 <古>
5632.28	kju: sueru <上>	kjo: sueru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(3)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5665.46	キウオスイル <新>	キウヤキオスル, キウオヤク <古>
5671.38	kju: o sueru <共>	e: to sueru <古>
5671.94	kju: o sueru <共>	jaito o jaru <sueruとは 言わない>
5676.84	キウオスイル <稀>	オキウオスイル <普>
5680.98	kju: o sueru <希>	jaito o sueru
5681.41	kju sueru <新>	jaito sueru
5690.12	kju: o sueru <新・希>	jaito o sueru
5690.27	kju: o sueru <希>	jaito sueru
5690.96	okju: o sueru <上> <これはキオツ(高尚な) ニとは>	jaito sueru



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	<u>B 除いた共通語</u>	
項目名		[C 除いた特殊語]	(4)
灸をすえる 022			

地点番号	<del>A 普通語とその注記</del> (B・ <del>C</del> 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・ <del>C</del> 残した語形とその注)
5710.84	キヅ <sup>ハ</sup> スイル <新>	キヅ <sup>ハ</sup> ヤ
5751.78	kjw: sŷerw <改子, 下と上のいい方>	kjw: ja kw
5782.79	kjw: ojakw <希>	kjw: sŷerw, je: ɕiojakw
6349.80	kju: osŷerw <今>	jaitoo sŷerw
6368.60	kju: osmerw <新, 商売の人があえる>	jaito: smerw <古, 自分であえる>
6407.43	キウオスイル <新希>	ヤイトオ スイル
6423.75	kju: osŷerw <上品>	jaitoo sŷerw
6437.07	オキヅ <sup>ハ</sup> スイル <上>	ヤイト セイル
6437.94	キウオスイル <新共希>	ヤイトオ スイル
6438.33	キウ <sup>ハ</sup> オ スイル <新希>	ヤイトオ スイル

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(5)
灸をすえる 022			

地点番号	<del>A</del> 語形とその注記 (B・ <del>C</del> 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・ <del>C</del> 残した語形とその注)
6447.84	オキユウ<上>	ヤイトオスエル
6449.19	オキユウオスエル<新>	ヤイトセイル
6457.45	オキユウ<新>	ヤイト, ヤイトオスエル
6459.52	オキユウスエル<新・失>	ヤイトスエイル (/スエル/)
6491.65	o-kju:osueru<上>	jaito osueru
6512.67	kju:sueru <今は多くの人はこれを使う。しかし今でもセッカンの場合には jaitoの方を使う>	jaito*sueru
6519.43	オキユウオスエル<失>	キユウオスエル, ヤイトオスエル
6522.37	キユウスエル<ヤヤ新>	ヤイトスエル
6523.86	kju:sueru<新>	jaito(o)sueru
6530.58	オキユウオスエル<失>	ヤイトオセイル

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(6)
火をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6534.37	kyu:sueru<新>	yaito sueru
6534.85	okyu:sueru<新>	yaito sueru <small>自分の干支の日には決してyaitoをすえはい。丑の日がわくとよい。</small>
6537.21	kju:osüeru<新>	jæ:toosüeru
6564.51	kju:sueru<新>	jaito sueru<古>
6573.71	kju:sueru<少>	jaito sueru<多>
6610.00	キエ スイル<稀>	ヤイト スイル
6635.20	kju:osüeru<上>	jæ:to: süeru
6635.54	kju:osüeru<上>	kju:ose:ru
6641.82	okju:osüeru<希>	kju:osüeru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		C 除いた特殊語	(7)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6642.58	okju: o smeru <新>	jaito o smeru
6642.85	keju: siueru <新>	jaito: siueru <古>
6645.01	kju: o smeru <新>	jaito o smeru
6711.95	kju: o smeru <新>	kju: o jaku
7218.58	kju: sueru <新>	e: to: sueru
7332.97	kju: osmeru <新>	jaito o smeru
7339.27	kju: smeru <新>	jaito smeru
7357.64	kju: o sueru <新>	kju: o sujuru <古>
7359.78	kju: o smeru <新>	jaito smeru
7383.98	キユウスイル <新>	キユウヤク <新> ヤイトヤク ヤイトスイル

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	83, 84	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(8)
灸をすえる 022			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7401.11	kju: smeru <上>	jaito o smeru
7403.16	o-kju: o smeru <上>	jaito o smeru
7420.18	kju: smeru <共>	jaito smeru
7420.91	kju: o smeru <新>	jaito o smeru
7431.08	kju: o smeru <新>	jaito o smeru
7451.77	kju: o sueru <共>	mōgusa o sueru <多>
7503.11	kju: o sueru <新>	jaito o sueru
7510.18	キウ スエル <新>	ヤイト スエル
7513.69	キウ スエル <これを使う人もある>	ヤイト スエル <多い。在来のもある> ヤイト ヤク } <これを使う人もある>
7521.16	キウ スエル <新>	キウ ヤク

ヤイトスエル



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 83.84	A 普通注記	D ページ
項目名 貧乏すゑ		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(1)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0990.97	kju <sup>?</sup> : su <sup>r</sup> iru ja <sup>i</sup> to su <sup>r</sup> ru	
1744.60	キユ <sup>ウ</sup> スル ヤト スル	
1754.16	センコタテル キユ <sup>ウ</sup> スル	
1814.25	オキユ <sup>ウ</sup> オタル ヤト スル	
1859.84	sen <sup>?</sup> ko taderu kju: ta <sup>r</sup> te <sup>r</sup> ru	
1862.48	キユ <sup>ウ</sup> オスル ヤト スル	
2703.18	kju <sup>?</sup> tateru okju sueru	
2773.13	kju si ja <sup>s</sup> i taderu	
3699.55	キユ <sup>ウ</sup> タテル キユ <sup>ウ</sup> スル キユ <sup>ウ</sup> タテル	
3725.72	キ <sup>?</sup> ヤ <sup>?</sup> エヤ <sup>?</sup>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 83.84	A 普通注記	D ページ (2)
項目名 負をすえ		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
37 77.86	オキユースイル キユースイル	
46 76.60	kjo:tateru okjo:tateru okjo:sweru	
46 85.10	kjo:ten swru kjo:tateru	
55 67.46	ヤトスイル ヤトスル ヤトセル	
55 68.57	キユツル ヤトスイル	
55 76.60	jaito sweru jaito siru kjw:osweru	
55 86.70	jaito siru jaito sweru	
56 05.57	ヤトスル キユースイル	
56 05.83	okju:osweru jaesio tateru kjw:osweru	
56 15.78	E:gi o tateru kjo:soeru	



- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 83.84	A 普通注記	D (3)
項目名 オヌヌ		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
56 21. 43	okjɯ: ʃirɯ jaɪto tɔtɛrɯ	
56 46. 71	エエ オヤク <sup>カ</sup> オヌ	
56 69. 96	kʃ: sɯɛrɯ jaʃi jaɟɯ jaʃi sɯɛrɯ	
56 80. 34	kjɯ: sɯɛrɯ je: too jaɟɯ	
56 88. 01	<sup>カ</sup> オヌ <sup>カ</sup> ヌ <sup>カ</sup> ヌ ヤエ オヤク <sup>カ</sup> オヌ	
57 33. 02	kjɯ: sm:ɾɯ kjɯ: jaɟɯ jaɟ:ʃi jaɟɯ	
57 42. 65	li: sɯɛrɯ li:ʃi jaɟɯ	
57 60. 24	oʃjɯ: o sɯɛrɯ jaʃi to jaɟɯ	
64 12. 12	ヤエツエ <sup>カ</sup> シ	
64 24. 20	jaɪto o sɯɛrɯ kjɯ: o sɯɛrɯ kjɯ: o sɯɛrɯ	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 83.84	A 普通注記	D ページ (4)
項目名 魚と子		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
64 26.04	kj̄m: o sm̄er̄m j̄aito o sm̄er̄m	
64 29.61	ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄ ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄	
64 36.98	j̄æ:to: s̄ɪ̄l̄ ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄ ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ o s̄ɪ̄l̄	
64 55.88	ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄ t̄ɪ̄t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄ o ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄	
64 57.45	ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ #ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄	
64 60.10	j̄aito: s̄ǟer̄m kj̄m: os̄mer̄m	
64 61.53	ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄-s̄ɪ̄l̄ t̄ɪ̄t̄ɪ̄ o s̄ɪ̄l̄	
64 76.13	ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄ o ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ s̄ɪ̄l̄	
65 00.22	ɸ̄ɪ̄t̄ɪ̄ (ɸ̄) s̄ɪ̄l̄ ɸ̄ɪ̄t̄ ~	
65 00.83	ɸ̄ɪ̄t̄ s̄ɪ̄l̄ ɪ̄ɸ̄ɪ̄t̄	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 83.84	A 普通注記 D
項目名 負すじ		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (5)

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
65 00.88	kju:osueru jaito:sueru	
65 81.36	ヤイトスル ̂キヨ スル	
65 81.52	ヤイトスル ̂キヨ トス	
65 83.93	ja'ito sure'ru ja'ito ja'ku	
66 22.69	okju: o smeru jaito	
66 29.24	je:gi o ja'm kim:smeru	
72 66.09	ja:gi jaku ja:to jaku	
72 75.07	ヤツ バヤワ モンガ バ スユ	
73 02.87	kju: smeru jaito o smeru	
73 11.68	ja'ito: su' jmr'u kju: su' jmr'u	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 83.84	A 普通注記	D ページ (6)
項目名 灸をすえる		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7332.52	ja: to: kju: su juru	
7333.51	ja i to: su juru e: to: su ju:	
7336.71	kju: o sujuru jaito: suru	
7340.24	ㄆㄣㄉㄉ ja: si jaku ㄆㄣㄉㄌㄌ sujuz	
7340.27	ja: si jaku ja: tsu sujuz	
7342.10	ja i to > e: to o kju: su juru	
7364.34	ㄆㄣㄌ ㄌㄣ * ㄆㄣㄌ ㄌㄣ ㄎㄣㄣ ㄌㄣ	
7365.25	jaito: sujuru kja: o sujuru	
7372.27	ㄆㄣㄌ ㄌㄣ ㄎㄣㄣ ㄌㄣ	
7373.56	ㄎㄣㄌㄌ ㄆㄣㄌ ㄌㄣ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 83.84	A 普通注記 D	ページ
項目名 糸をすゐる		(B 除いた共通語)	(7)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7373.99	キコウ スエル ヤトヤク ヤト スエル	
7375.71	eſijaku jaito sujuru	
7377.72	kju: sujuru jaito sueru	
7381.47	ヤトヤク キコウ スエル	
7382.97	ヤトヤク キコウ スエル	
7383.83	ヤトヤク キコウ スエル	
7383.98	キコウヤク ヤトヤク ヤト スエル キコウ スエル	
7386.55	eto' sue suru eto sujuru	
7390.75	ヤトヤク ヤク キコウ スエル	
7391.94	ヤコウヤク ヤトヤク キコウ スエル	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> ( ) は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 PJ.84	A 普通注記 D ページ
項目名 交を可る		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語 (8)

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
7392.33	ヤツウヤ7      キヅウ スヰル	
7393.62	ヤツクヤ7      ヤイトスヰル.      キヅウ スヰル	
7394.60	ヤヒヤ7.      ヤトヤ7.      キヅウ スヰル	
7394.85	je'to:suru      je'to:jaku	
7395.88	eʃi osujuru      etsu sujuru	
7404.12	jaito o se:rw      jaito o swerw	
7421.62	jaito o swerw      kju:0 o rosu	
7422.26	kju: o sueru      jaito: sueru	
7427.90	mo'n'sasueru      kju:0'rosu	
7450.44	jaito sueru      kju:0rosu	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は厳密にする。

質問番号 D22	地図番号 A3.84	A 普通注記 D	ページ
項目名 黄を可也		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(9)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7461.77	mo <sup>r</sup> gusa o sueru. kju <sup>r</sup> :oro'su	
7513.15	ja <sup>i</sup> to ja <sup>r</sup> ku okju <sup>:</sup> suetu	
7513.69	ヤトスイル. ヤトヤ7. $\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{スイル}$ $\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{ヤ7}$	
7521.16	ヤトスイル $\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{スイル}$	
7522.48	ヤトスイル $\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{スイル}$	
7523.20	ヤトヤ7 $\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{スイル}$	
8301.19	$\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{ス}$ $\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{スイル}$ ヤウヤ7	
8302.91	ヤウヤ7 $\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{スイル}$	
8303.47	ヤトヤ7. $\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{スイル}$	
8303.70	$\overset{\frown}{\text{キ}}\overset{\frown}{\text{ウ}}\text{スイル}$ ヤトスイル ヤトスイル	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は厳密にする。

質問番号 022	地図番号 83.84	A 普通注記 <del>          </del> D	ページ
項目名 糸を可にする。		(B 除いた共通語)	(10)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
8303 84	ヤヒヤ7      ヤトスヰル	
8313 84	Jetsu sue      JitJot	
8323. 69	etsu sue      etsu sujui (ga)	
8351. 65	kjuosujut      jetsu o jaku	
8354 29	Jetsu o Sujaru      jetsu o sujui	